

信楽園病院だより

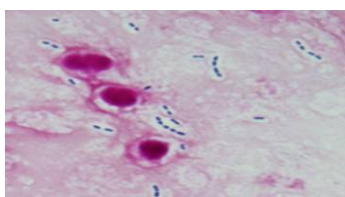
122号 平成23年5月1日 発行

〒950-2087 住所 新潟市西区新通南3丁目3番11号 Tel 025-260-8200 FAX 025-260-8199
E-mail renkei@shinrakuen.com ホームページアドレス <http://www.shinrakuen.com>

検査科細菌検査室の紹介

細菌検査室では、患者様から採取された検体（痰、尿、膿、便、胆汁、血液、その他さまざまなもの）のなかに感染症の原因となる細菌がいるかを調べ、どのような種類の菌なのか、またどのような薬（抗菌薬）か有効なのかを検査しています。

細菌検査は、おもに①塗抹検査、②培養・同定検査、③薬剤感受性試験、の3つの検査を行います。



喀痰中の肺炎球菌

① 塗抹検査は、検体をスライドガラスに薄く塗り広げ、特殊な染色法（グラム染色）で染め分けた後、顕微鏡で細菌の存在を確認し、どのような菌かを推定する検査です。感度や正確性は少し劣りますが、早く結果を出せるメリットがあります。



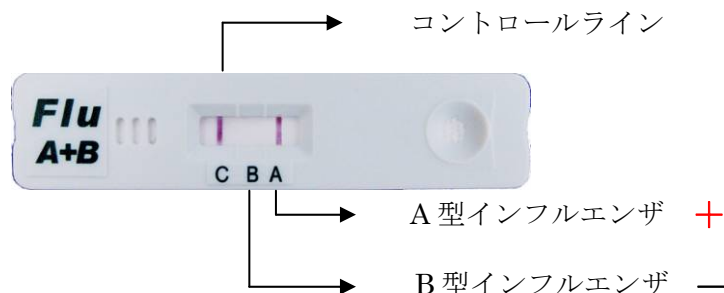
培地に発育した肺炎球菌

② 培養・同定検査は、検体を培地（栄養分を寒天で固めたもの）に塗り、細菌を増殖させた後、発育した菌の特徴から、何という菌名かを調べる検査です。検査結果が出るまで数日かかりますが、どのような病原菌による感染なのかを調べる基本的な検査です。

③ 薬剤感受性試験は、病原菌と抗菌薬を混ぜて培養し、どの薬が有効かを調べる検査です。適切な薬を選択できることはもちろんのこと、MRSA など薬が効きにくく問題となっている耐性菌を見つけることができます。

また免疫学的手法を利用し、数分から数十分で報告可能な迅速検査として、ウイルスの検出や、病原菌の出す毒素の検出、培養によらない病原菌の検出などを行っています。

迅速検査の一例（インフルエンザの検査）



最後に、細菌検査室の担当者は、分離される菌の動向や、耐性菌の出現などを監視し、医師、看護師、薬剤師、などと連携を図りながら院内感染対策委員会メンバーとして、院内感染の早期発見とアウトブレイクの防止に努めています。

※ 詳しくは、当院ホームページ各部門のご紹介「臨床検査科」にてご覧いただけます。

<http://www.shinrakuen.com>